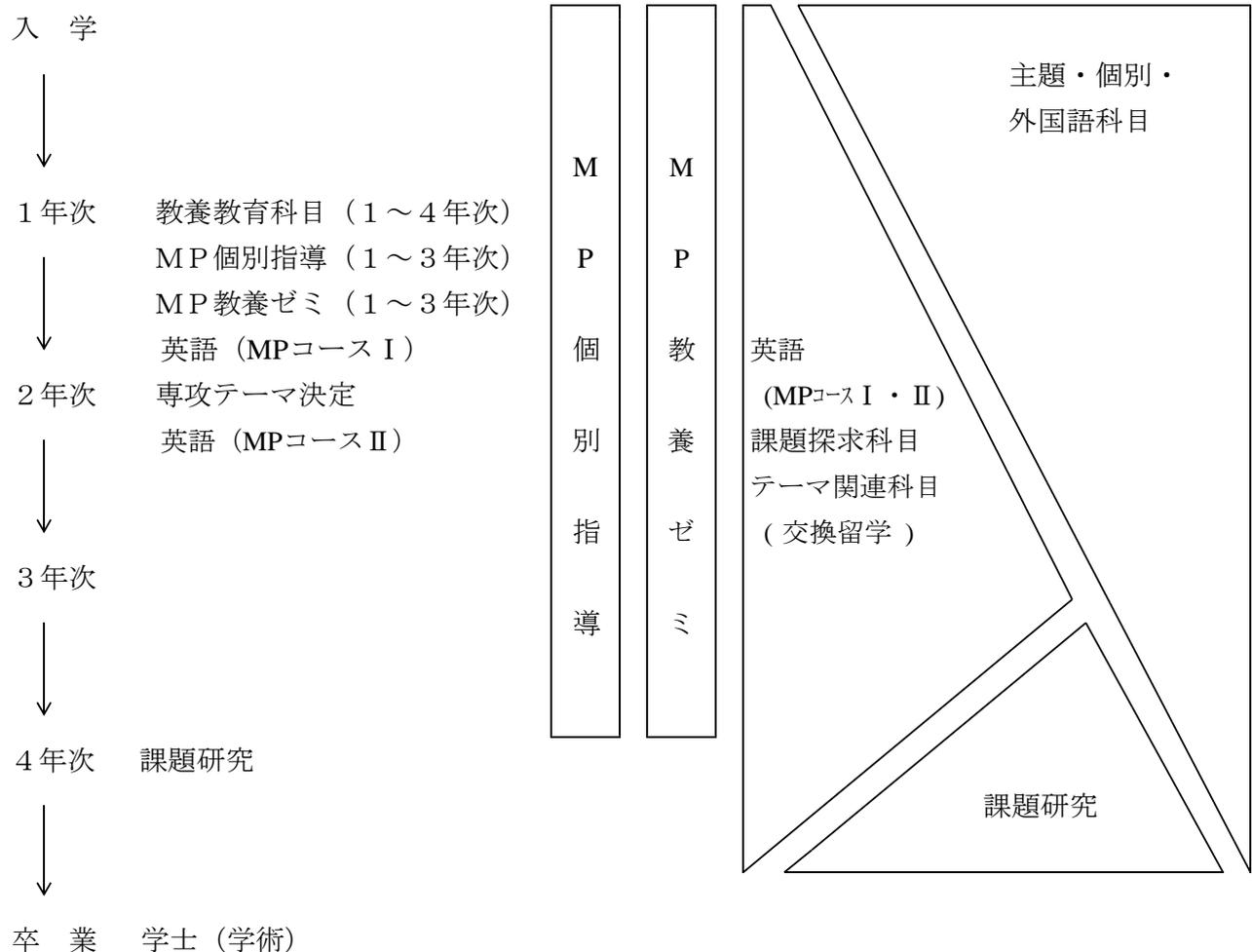


3. マッチングプログラムコース履修のしくみ

このプログラムは、理学部を責任学部として運営されますが、本学の持つ教育資源を最大限に活用する新しい教育課程です。その教育は、個別指導と少人数制を基本としています。

履修の制限が付くこともありますが、各学部は、その開講科目をMPコースの学生が履修することを原則的に認めることになっています。



4. マッチングプログラムコース卒業要件単位数及び履修科目区分表 【4月入学者対象】

区分	授業科目区分	授業科目	卒業要件単位数		履修年次										
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
					1 セメ	2 セメ	3 セメ	4 セメ	5 セメ	6 セメ	7 セメ	8 セメ			
教養教育科目	ガイダンス科目	自然科学入門 (MPコース)	2		②										
	主題科目 個別科目	現代の課題 人間と社会		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		健康やかに生きる		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		自然と技術		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		人文・社会科学		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		自然科学		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ演習 (する・みる・支える)	2	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		情報科学	情報処理入門			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		外国語科目	英語	総合英語 1	1			①							
				総合英語 2	1			①							
				総合英語 3	1		①								
	総合英語 4			1		①									
	総合英語 5			4				①	①						
	ドイツ語		上級英語 プレ上級英語 英語特別演習 1・2	4							○	○	○	○	
			ドイツ語初級				○	○	○	○	○	○	○	○	
			ドイツ語中級				○	○	○	○	○	○	○	○	
	フランス語		フランス語初級				○	○	○	○	○	○	○	○	
			フランス語中級				○	○	○	○	○	○	○	○	
	中国語		中国語初級				○	○	○	○	○	○	○	○	
			中国語中級				○	○	○	○	○	○	○	○	
	韓国語		韓国語初級				○	○	○	○	○	○	○	○	
		韓国語中級				○	○	○	○	○	○	○	○		
	ロシア語	ロシア語初・中級													
スペイン語初・中級															
イタリア語	イタリア語初・中級														
	専門教育科目	MP教育科目	MP個別指導 1	2			②								
MP個別指導 2			2					①	①						
MP個別指導 3			2							①	①				
英語 (MPコース I) ※注 1			2			②									
英語 (MPコース II) ※注 2			2					②							
MP教養ゼミ (コミュニケーション)			2			○	○	○	○	○	○	○	○		
MP教養ゼミ (日本語)			2			○	○	○	○	○	○	○	○		
MP教養ゼミ (異文化)			2			○	○	○	○	○	○	○	○		
MP教養ゼミ (自然科学)			2			○	○	○	○	○	○	○	○		
MP教養ゼミ (倫理・哲学)			2			○	○	○	○	○	○	○	○		
専門科目	総合選択履修 科目	情報処理関連科目 (各学部が開講する専門教育科目の 情報関連科目) テーマ関連科目 (各学部が開講する 専門教育科目)	4		○	○	○	○	○	○	○	○			
	課題科目	課題探求科目 (各学部が開講する 専門教育科目) 課題研究	4 6 1 0		○	○	○	○	○	○	○	○			
卒業要件単位数合計数			110	18											
			128												

◆○の位置は履修可能時期 (セメスター) を、中の数字は単位数を示す。例：② = 2 単位

※注 1～2：履修登録前までに TOEIC スコア を 700 点以上取得して、なおかつ担当教員の許可を得た場合、後期開講の英語 (MP コース I)、英語 (MP コース II) を履修する。詳細はシラバスを確認すること。

※注 3：選択必修の 18 単位は、以下の条件にしたがって履修する。

- 1) 教養教育科目を履修する場合、卒業要件に算入できるのは 14 単位以内とする。
- 2) 教養教育科目については、個別科目 (生命・保健科学)、「総合英語 1～5」,「上級英語, プレ上級英語」以外を履修する。
- 3) 専門教育科目については、「テーマ関連科目」を履修する。
- 4) 教育学部で開講している教員免許状取得のための「教職に関する科目」は、上記「卒業要件単位数合計数」には含まれず、卒業要件外単位とする。

【10月入学者対象】

区分	授業科目区分	授業科目	卒業要件 単位数		履修年次									
			必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
					1 セメ	2 セメ	3 セメ	4 セメ	5 セメ	6 セメ	7 セメ	8 セメ		
教養教育科目	ガイダンス科目	自然科学入門 (MPコース)	2			②								
	主題 科目	現代の課題	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		人間と社会	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		健康やかに生きる	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自然と技術	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	個別 科目	人文・社会科学			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自然科学			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生命・保健科学			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		健康・スポーツ科学 スポーツ演習(する・みる・支える)	2	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		情報科学			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外国語科目	英語	総合英語 1	1		①									
		総合英語 2	1		①									
		総合英語 3	1			①								
		総合英語 4	1				①							
		総合英語 5	4				①	①						
	ドイツ語	上級英語 プレ上級英語 英語特別演習 1・2	4						○	○	○	○	○	
		ドイツ語初級			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	フランス語	ドイツ語中級			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		フランス語初級			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	中国語	フランス語中級			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語初級			4	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
韓国語	中国語中級			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	韓国語初級			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ロシア語 スペイン語 イタリア語	韓国語中級			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ロシア語初・中級 スペイン語初・中級 イタリア語初・中級													
専門教育科目	専門基礎科目	MP教育科目	2			②								
		MP個別指導 1	2											
		MP個別指導 2	2				①	①						
		MP個別指導 3	2						①	①				
		英語 (MP コース I)	2			②								
		英語 (MP コース II)	2					②						
		MP教養ゼミ (コミュニケーション)	2			○	○	○	○	○	○	○	○	
	MP教養ゼミ (日本語)	2			○	○	○	○	○	○	○	○		
	MP教養ゼミ (異文化)	2			○	○	○	○	○	○	○	○		
	MP教養ゼミ (自然科学)	2			○	○	○	○	○	○	○	○		
MP教養ゼミ (倫理・哲学)	2			○	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	総合選択履修 科目	情報処理関連科目 (各学部が開講する専門教育科目 の情報関連科目) テーマ関連科目 (各学部が開講する 専門教育科目)	4		○	○	○	○	○	○	○	○		
	課題科目	課題探求科目 (各学部が開講する 専門教育科目) 課題研究	4 6 1 0		○	○	○	○	○	○	○	○		
卒業要件単位数合計数			110	18										

◆○の位置は履修可能時期 (セメスター) を、中の数字は単位数を示す。例：② = 2 単位

※注 1：選択必修の 18 単位は、以下の条件にしたがって履修する。

- 1) 教養教育科目を履修する場合、卒業要件に算入できるのは 14 単位以内とする。
- 2) 教養教育科目については、個別科目 (生命・保健科学)、「総合英語 1～5」,「上級英語, プレ上級英語」
以外を履修する。
- 3) 専門教育科目については、「テーマ関連科目」を履修する。
- 4) 教育学部で開講している教員免許状取得のための「教職に関する科目」は、上記「卒業要件単位数合計数」
には含まれず、卒業要件外単位とする。

5. マatchingプログラムコース授業, 履修, 単位, 試験等について

学年と学期 (セメスター)

岡山大学では, 1 学年を 2 分割する 2 学期制をとっており, 多くの授業は, 1 科目について 1 6 回行うことを基本としていて, 学期ごとに完結するセメスター制を採用しています。

1 年		2 年		3 年		4 年	
1 セメスター	2 セメスター	3 セメスター	4 セメスター	5 セメスター	6 セメスター	7 セメスター	8 セメスター

教養教育科目

- 1) 外部検定試験等の結果により単位を認定する。
(別表第1, 別表第3「外部検定試験等による単位認定について」参照)
- 2) プレ上級英語及び上級英語は, 3 年次で履修することが望ましい。
英語を意欲的に学習する学生は, 3 年次以外の時期にも履修することを推奨する。

MP 教育科目

- 1) 指定されたクラスで履修する。
- 2) 現在開講されている科目については, 開講されない場合もあるので, 各自でシラバスを確認の上, 履修登録すること。

履修科目の登録単位数の上限設定

- 1) 履修科目として登録できる単位数の上限は, 1 年間 4 2 単位とする。
ただし 1 年次前期においては, 2 8 単位を上限とする。
- 2) MP コース教育部長が教育上特別の必要があると認めた場合は, 4 2 単位を超えて履修科目を登録できる。(グローバル人材育成特別コースの履修科目は, 履修登録単位数に含まない。)

課題研究の履修条件

- 1) 3 年次後期終了時で MP コースの卒業要件単位 1 2 8 単位のうち, 修得単位が 1 0 0 単位以上の者。
- 2) 課題研究を行う学部・学科によっては, それぞれの部局の条件が適用される場合があるため, できるだけ早い段階で受入れ条件を確認しておくこと。

副専攻コース(全学開講)の履修について

全学開講の副専攻コースは, MP コースで学習した知識を, さらに広い視野で有効に活かすことのできる能力を養うために別の教育課程として設けたものである。

MP コースの学生は, 英語コース, ドイツ語コース, フランス語コース, 中国語コースに限り履修できる。

履修対象者は, 単位修得状況が良好, 成績優秀で副専攻コースの履修が可能と認められた者である。また, 副専攻コースとしての履修により修得した単位は, 教養教育科目を除き, 卒業要件単位にはならない。

グローバル人材育成特別コースについて

グローバル人材育成院開講のグローバル人材育成特別コースは, MP コースで学習した知識に加え, 実践的な英語力とコミュニケーション力を身につけるとともに, 異文化と日本文化(地域文化を含む)への理解を深めてアイデンティティの形成を図り, グローバルに活躍できる中核的人材の育成を目指すコースである。

履修対象者は, 一定の英語力を有し, 国際的な活動や, 日本文化及び地域社会への深い理解を踏まえた異文化交流に意欲のある学生で, かつグローバル人材育成特別コースの履修が可能と認められた者である。

グローバル人材育成特別コース履修者は, 全学開講の副専攻コースを履修することは出来ない。

グローバル人材育成特別コースとしての履修により修得した単位は, 教養教育科目, 専門科目共に, 卒業要件単位に算入するものとする。

履修登録

岡山大学学則、マッチングプログラムコース規則等の単位取得に関する規定に従って、各自がアカデミック・アドバイザー（以下、「AA」という。）と相談のうえ、履修計画を立て、年度ごとの授業時間割表・シラバス等により、履修を希望するすべての授業科目を各学期の始めに履修登録します。（他学部開講科目の履修については、授業担当教員の許可を受けること。）履修登録は指定された期間中に学生が大学内のパソコンを操作してコンピュータ登録します。（履修登録のない科目の単位修得は認められません。）

また、履修登録の手続期間以外は、原則として履修科目の変更（追加登録・取り消し）は認められません。集中講義の履修登録については掲示等によりその都度指示します。

なお、他学部で履修する専門教育科目は、マッチングプログラムコースにおける専門科目のどの区分（情報処理関連科目、テーマ関連科目、課題探求科目）になるのかを各自の履修計画に基づき決定しますので、よくAAと相談してください。

試験

- 1 試験の時期・・・各授業担当教員の指示によって行われます。
- 2 受験の延期・・・病気その他やむを得ない理由で受験できなかった者は、各授業担当教員の判定により追試験を受けられることがあります。
- 3 受験の心得・・・受験にあたっては、別に示される受験心得や各授業担当教員の指示に従って受験すること。

※ 教養教育科目については「履修の手引」を参照のこと。

単位の修得

授業は、講義、演習、実験、実習のいずれかの方法、またはこれらの二以上の併用により行われます。授業科目の1単位当たりの学修は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業内容の方法による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数が定められています。

授業の種類、方法	授業による学修時間	授業時間外の学修時間
講義	15時間	30時間
演習	15時間又は30時間	30時間又は15時間
実験、実習	30時間又は45時間	15時間又は0時間
課題研究	必要な学修等を考慮して、単位数を定める。	

単位の修得は、授業の2/3以上出席したものにつき、試験、報告書及び平素の成績を考慮して各授業担当教員が判定します。

成績の評価

授業科目によっては、「修了」または「認定」を用いて合格の標語とすることがあります。

評語	G P	評価基準 (評点)
A+	4	90点～100点 (合格)
A	3	80点～ 89点 (合格)
B	2	70点～ 79点 (合格)
C	1	60点～ 69点 (合格)
F	0	0点～ 59点 (不合格として単位を与えません。)
W	対象外	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に、履修取消手続きを行った授業科目のため評点はない。

※ 上記G Pから、次の計算式でG P A (グレード・ポイント・アベレージ) が算出される。これは、学習達成度の目安として使用されることがあります。これは、在学期間を通して集計されますので、「F」を取りますと、大きく下がります。注意してください。

$$G P A = \frac{\text{(履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のG P) の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

(小数第3位を四捨五入)

成績の通知

履修登録科目の成績は、前期末及び後期末に通知 (各自がコンピュータで確認) します。後期末の成績通知については、4年次生は3月上旬頃に、1～3年次生については、3月中旬頃に通知します。

なお、特段の理由のない限り、保護者にも成績が通知されます。

他大学等の授業科目の履修について

他大学等の授業科目の履修がMPコースで認められた場合は、履修して修得した単位が本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

他大学の授業科目の履修を希望する者は、所定の手続により履修を申し出ること。

その他

- 1) 履修、単位、成績等に関係あることは、理学部事務室教務学生担当またはMPコースの掲示板で連絡するので見落とさないよう注意すること。
- 2) 現在開講されている授業科目については、都合により開講中止となる場合もあるので、各自で当該年度の時間割等を確認の上で、履修登録すること。